

その4、ドモドッソラ

スイスとの国境の近くドモドッソラのカルヴァリオ (Calvario) の丘にあるサクロ・モンテです。イタリア語では **Sacro Monte Calvario** と呼ばれています。名前の通りキリストが磔にされた丘と同じものを作ることが目的で造営されました。従って、キリスト受難の磔、復活までが 15 の礼拝堂に画かれています。

それぞれの礼拝堂の位置関係は、キリストの受難の物語の内容にあわせてあります。即ち、キリストが、裁判で磔の刑になり、カルヴァリオの丘を十字架を背負って登り始めます。やがて、丘の頂上に着き、そこでキリストは十字架に磔となります。その後、復活するまでがここでは現されています。実際に、1番と2番の礼拝堂は丘の手前にあり、丘の上り口にある3番の礼拝堂ではキリストが十字架を背負い始めます。ここを過ぎてから登りの山道に入っていきますので、巡礼者はキリストと同じ道を歩くことになります。きつい登りはキリストの受難を思い浮かべながら登るのでしょうか。頂上はキリスト受難の聖城となっていて、この聖域内には、8番から11番までの4つの礼拝堂、12番（中に13番を含む）の現役の礼拝堂（磔となり亡くなる場所）、14番のキリストの墓と15番の大きな礼拝堂（復活）と6世紀のお城があります。15番の礼拝堂が一番高いところにあり、そこからの眺めがとてもきれいです。各礼拝堂の詳細は添付を見てください。





Sacro Monte Calvario は、マッジョーレ湖に面したボッロメーオ諸島の観光で有名なストレーザの先（30分ほど）にある国鉄 Domodossola 駅から歩いて 10 分弱のところにあるサクロ・モンテです。駅からは歩いていける距離ですが、駅前からサクロ・モンテの最高地点までのバスも出ています。バスは、1 日 4 本（9.50 a.m. - 11.10 a.m. - 3.15 p.m. - 5.35 p.m.）ありますが、列車の時間と合っていないこともあり、今回はあまりお勧めではありません。Domodossola は大きな街で、駅も大きく駅前の広場からも周りの山々を見渡せる気持ちの良いところです。駅前から真直ぐにメイン通りを進み、二股を左側に進んで、ロスミニ通りを左に折れて、左に教会を見ながら進み大きな通りを超えると、その先に 1 番の礼拝堂があります。まだ、舗装道路の街の中ですので、なんで、こんなところにあるのかと思います。駅からの道は、途中の曲がる場所に Sacro Monte Calvario と黄色の看板表示がありますので、それに従って歩けば問題なく 1 番目の礼拝堂にたどり着きます。1 番の礼拝堂の先に 2 番があり、その左の先に 3 番があります。ここまでが街中です。3 番の礼拝堂から登りの山道に入ります。登り勾配は結構きつい（特に 6 番と 7 番の間がきつい）のですが、キリストの受難とは比べようもないほどの何とかなる登りです。私もここで初めて 1 番から 15 番まで順番に巡礼しました。戻りは、同じ道を街まで戻り、街中を散策しながら駅まで戻りました。山々に囲まれた街中もきれいで気持ちの良いところでした。



ポルタガリバルディから Domodossola 駅までは普通列車で2時間強かかります。途中、マッジョーレ湖も一望できますし、ストレーザ駅の前からボッロメオ諸島も見ることが出来ます。また、マッジョーレ湖からドモドッソーラまでは両側に高い山がそびえています。もうちょっと、列車がきれいだと申し分のない列車の旅です。普通列車はポルタガリバルディを8時と9時に出る2本あります。帰りは、13時57分にポルタガリバルディ行き、15時15分にミラノ中央駅行きがありますので、それに合わせて計画すれば良いだけです。また、今回は乗りませんでした。Domodossola 駅から国境を越えてスイスのロカルノまで行く山岳鉄道もありました。国鉄駅の地下から出ています。片道、4.08ユーロで所要時間は1時間40分です。切符売り場のところ（国鉄駅の地下にあります）に写真が張ってありましたが、なかなかよさそうです。切符売り場には、15人くらいの方が待っていました。

昨日に引き続き、今回も全く問題はありませんでした。サクロ・モンテには土産物屋もカフェもありませんでした。今回は水を持っていたので問題なしです。サクロ・モンテはもちろん入場料も無料です。ドモドッソーラ駅のバーは充実していて、パニーニもちやんと焼いてくれてとても美味しかった。街の中にもレストランやカフェがいっぱいあり楽しめそうです。

Sacro Monte Calvario

Riserva Naturale Speciale del S.M. Calvario di Domodossola

CAPPELLA I – Gesù davanti a Pilato

CAPPELLA II – Gesù è caricato della croce

CAPPELLA III – Gesù cade la prima volta

CAPPELLA IV – Gesù incontra Sua Madre

CAPPELLA V – Il Cireneo

CAPPELLA VI – La Veronica

CAPPELLA VII – Gesù cade la seconda volta

CAPPELLA VIII – Gesù incontra le donne di Gerusalemme

CAPPELLA IX – Gesù cade la terza volta

CAPPELLA X – Gesù è spogliato e abbeverato di fiele

CAPPELLA XI – Gesù è crocifisso

CAPPELLA XII – Gesù spira sulla croce

CAPPELLA XIII – La Deposizione

CAPPELLA XIV – Il Sepolcro

CAPPELLA XV – La Resurrezione

